

あきつ



No.31 令和6年 1月 9日
校長 太良木 香江

令和6年がスタートしました。今年もよろしくお願いたします。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、初めて迎える年末年始でしたが、いかがお過ごしでしたか。久しぶりに多くの方々と集う機会もあったのではないのでしょうか。元日に令和6年能登半島地震が起き、犠牲になられた方々を思うと心が痛みます。私たちは熊本地震で人と人が助け合い、支え合う大切さを学びました。通常どおり生活できることに感謝し、精一杯生き、その中でお互いの心がつながり合う笑顔あふれる1年にしたいと思います。本日も子どもたちの「おはようございます」の挨拶に心がホッとしました。

さて、3学期に登校する日は50日ほどしかありません。1年のまとめを行い、新しい学年への準備も始める大事な学期です。本校職員も気持ちを新たに子どもたちとともに取り組んでまいります。昨年に引き続き保護者・地域の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

3学期、始業式 ～こんな話をしました～

新聞等でも話題になりましたが、本校にも大リーグで大活躍されている大谷 翔平 選手のグローブが近日中に届きます。大谷選手はメジャー挑戦から6年在籍したエンジェルスでは投打「二刀流」を確立。昨年は日本勢初の本塁打王を獲得し、2年ぶり2度目のアメリカンリーグ最優秀選手に輝きました。WBCでの気迫あふれるプレー、歴史に残る名勝負に多くの方が感動しました。野球観戦が大好きな私も、シーズン中は大谷選手の成績が気になり、またWBCではかなり興奮して応援しました。



今回のグローブの寄贈は日本の子どもたちに「野球というスポーツに触れ、興味をもつきっかけになってほしい」「夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいる」という大谷選手の思いが込められています。そこで3学期始業式でこの大谷選手のグローブが届けられることを紹介し、大谷選手の生き方から学ぶことを子どもたちに伝えたいと思って話しました。

○大谷選手は野球を始めた小学3年生の時から自信をもって「僕はプロ野球選手になる」と言い続けました。

○高校生で時速160キロの速さのボールを投げることをずっと目標にし、それをチームメイトに伝えたり、紙に書いたりして自分にプレッシャーをかけ努力しました。

○二刀流について「無理だと思わないことが一番。とにかくやってみたいんです」とチャレンジする気持ちをとても持っています。

○失敗もありそんなときは落ち込んでしまうそうです。でもそれをどうやって次につなげるかということを考え、次のチャレンジへの準備を進めるそうです。

大谷選手も考え、チャレンジし、努力しているから今の活躍があります。大谷選手の言葉、生き方に私たちは勇気をもらいますね。

さて、1月の一文字は大谷選手の名前にある翔（かける）です。この漢字の意味には羽を広げて高く飛ぶという意味があります。今年、みなさんが考え、チャレンジし、更に自分を高め、多くの人・こととつながり合うことを願っています。

校長室前にある「考える、チャレンジ、つながり合う」木が成長しています。「算数を頑張りました」「まめが5こできた。さかあがりができるようになった」「イラストレーターになって苦しんでいる人や悲しんでいる人を笑顔にしたい。そのために絵の勉強を頑張っている」「なかなか素直になれないけどごめんなさいが言えた」などみなさんの一生懸命さがひしひしと伝わってきます。3学期も皆さんの頑張りを校長室に話に来てください。



【 学校教育目標 】

一人一人が輝く、笑顔あふれる学校

自ら考え主体的に行動する人を育てる教育の推進

～考える子・チャレンジする子・つながり合う子～



1月の生活目標

生活リズムを整えよう
～はやね、はやおき、あさごはん～

あ あかるいあいさつ
き きれいな学校
つ つながるこころ
つ つながり合おう

ホームページ
QRコード